



2026年1月16日

各 位

会 社 名 Hm c o mm株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 三本 幸司
(コード: 265A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役執行役員 CFO 土屋 学
(TEL. 03-6550-9830)

Lakelink 株式会社との業務提携に向けた協業開始のお知らせ

当社は、Lakelink 株式会社と AI ソリューションの創出および当社既存プロダクトの協業を開始することを本日決定し、基本合意書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

1. 検討の理由

当社は「音から価値を創出し、革新的サービスを提供することにより社会に貢献する」という経営理念のもと音×AI による先進的サービスの提供等を行っており、AI ソリューション事業およびAI プロダクト事業を推進しております。当社事業の推進においては、生成 AI や機械学習分野における新技術や事業研究が事業推進には重要な要因と考えており、「事業計画及び成長可能性に関する資料」で公表しているとおり当事業年度における先行投資分野としております。

このような状況において当社は、Lakelink 様の AI 技術と融合することで、AI 分野における新技術の構築、開発体制の強化を目的として協業の協議を開始することといたしました。

2. 業務提携の内容

今後、業務提携に向けて以下の取り組みを段階的に推進してまいります。その他詳細につきましては別紙の参考資料をご覧ください。

(1) ソースコードから仕様書を作成する AI に関する共同開発

Lakelink 社の高度な AI 技術力と当社の生成 AI 技術を融合し、ソースコードから仕様書を作成する AI の実用化を目指します。

(2) 研究・開発の推進

Lakelink 社の高度な AI 技術力と当社の音声 AI/生成 AI 技術を融合し、AI ソリューションの共同開発の推進を目指します。

(3) 国内外市場への共同展開

本提携により、当社が有する独自の「音声×AI」技術を活用した AI 音声認識・自動応答プロダクトの開発・提供と、Lakelink 社の AI 技術マーケティング力を融合させることで、国内外市場における競争力の強化も図ってまいります。

3. 相手先の概要

(1) 名 称	Lakelink 株式会社
(2) 所 在 地	東京都港区北青山2-7-26 メゾン青山806
(3) 代表者の役職・氏名	百瀬 公朗
(4) 事 業 内 容	システム開発、IT コンサルティング
(5) 資 本 金	100 万円

(6) 設立年月日	2024年11月11日	
(7) 大株主及び持株比率	百瀬公朗 49%、渡邊凜 26%、光貞青真 25%	
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※Lakelink 株式会社は 2024 年 11 月設立であり、「最近 3 年間の財政状態及び経営成績」として開示すべき情報が確定しておりませんため、記載を省略しております。

4. 今後の日程

2026 年 1 月 16 日に両社間で基本合意書を締結いたしました。業務提携の内容詳細についても今後協議してまいります。なお、適時開示の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

5. 今後の見通し

本件は、現時点では当社の業績に与える影響は軽微であると考えております。今後、業績に重要な影響を与えることが判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上



Press Release

報道関係各位

2026年1月16日

Hmcomm株式会社

(東証グロース 265A)

Lakelink 株式会社とのソースコードから仕様書を作成する AI に関する共同開発を開始

-～AI 技術でシステム開発等の新たなアシストの創出～

音声 AI を活用した革新的なソリューションを提供する Hmcomm 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：三本 幸司、以下 Hmcomm）と、AI ソリューションの開発と IT コンサルティングの Lakelink 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：百瀬 公朗、以下 Lakelink）は、ソースコードから仕様書を作成する AI に関する共同開発を開始したことをお知らせいたします。

■背景

近年、長期的に運用されているシステムやサービスにおいて、初期の仕組み構築から時間が経過し、保守業務や改修が繰り返される中で、仕様書や関連ドキュメントが必ずしも最新の状態に保たれていないケースが増加しています。その結果、システム全体が「ブラックボックス化」し、運用やトラブルシューティングが困難になる事例も見受けられます。このような状況は、業界全体で共有される重要な課題であり、効率的な運用や将来の拡張性に対するリスクを抱えることとなります。

Hmcomm は、独自の「音声 × AI」技術を活用した AI 音声認識・自動応答プロダクトの開発・提供を通じて、さまざまな業界で業務効率化を支援してまいりました。今回、Lakelink との共同研究により、ソースコードから仕様書を作成する AI の実用化を目指します。

■共同研究の概要

本共同研究では、ソースコードから仕様書を自動生成する AI 技術の実用化に向けた取り組みを開始いたします。本技術の確立により、近年ニーズが高まっているシステムのモダナイゼーションを支援するとともに、システム開発現場におけるドキュメント作成工数の大幅な削減と品質向上を実現し、さらなる開発生産性の向上に貢献できるものと期待しております。

■今後の展望

Hmcomm と Lakelink は、本協業を通じて、企業の DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に貢献し、日本国内の AI 人材不足の解決に向けた取り組みを強化するとともに、両社の技術・ノウハウを活かし、より高度な AI ソリューションの開発を強力に推進してまいります。

また、両社間でのビジネス機会のさらなる創出を目指し、研究開発体制の強化や、より高度な技術の導入にも積極的に取り組んでいく予定です。これにより、両社のクライアント企業に対し、より高度なソリューションを提供し、持続可能な成長を支援してまいります。

●Lakelink 株式会社 代表取締役社長 百瀬 公朗様のコメント

「このたび、Hmcomm株式会社様とAI技術の開発連携において協業を開始できることを大変嬉しく思います。当社はこれまで、AI技術を活用した最先端のソリューション開発に注力してきました。今回の協業により、お客様に対してより効率的かつ高品質な業務プロセスの提供が可能になると確信しております。今後もHmcomm様と緊密に協力し、AIを活用した技術革新を積極的に推進してまいります。」

●Hmcomm株式会社 執行役員 中島 丈晴

「システム開発業界においては、従来より「システムのブラックボックス化」が重要な課題の一つと認識されております。このたび、Lakelink株式会社様との共同研究を通じて、AI技術を活用したシステム開発支援に関する新たなアプローチの創出に取り組んでおります。本取り組みにより、システム利用者のみならず、開発者に対しても、先進的なAIソリューションを提供し、業界全体への技術的貢献を目指してまいります。今後も本技術を活用し、顧客ニーズに的確に応える製品・サービスの提供を推進するとともに、さらなる技術革新を通じて、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。」

Hmcomm株式会社について

代表取締役社長 CEO 三本 幸司

URL <https://hmcom.co.jp>

設立日 2012年7月24日

所在地 東京都港区芝大門2-11-1 富士ビル2階

事業内容 人工知能(AI)音声処理技術を基盤とした要素技術の研究/開発およびソリューション/サービスの提供を行っております。コールセンター向けAI音声認識プロダクト「Voice Contact」「Terry」と異音検知プロダクト「FAST-D」を基盤とし、「音から価値を創出し、革新的サービスを提供することにより社会に貢献する」を理念としています。

Lakelink株式会社について

代表取締役社長 百瀬 公朗

URL <https://hp-lakelink.lovable.app/>

設立日 2024年11月11日

所在地 東京都港区北青山2-7-26メゾン青山806

事業内容 AIツール/ソリューションの開発、導入、販売

<本リリースに関するお問合せ>

報道関係者様：Hmcomm株式会社 IR担当 hm_ir@hmcom.co.jp

企業様：Hmcomm株式会社 営業統括部 sales_team@hmcom.co.jp

TEL : 03-6550-9830 FAX : 03-6550-9831